

補助事業番号 19-19

補助事業名 平成19年度機械工業の事業環境整備に資する基礎調査等補助事業

補助事業者名 社団法人 日本機械工業連合会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

機械工業における事業環境整備を促進するため、国際標準化への対応調査、関連情報の収集・広報等を実施し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 機械工業の景気動向、生産見通し等調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/19_jigyoku.html#1

機械関係団体を対象に年2回（当初見通しと改訂見通し）、生産額（実績と見通し）、輸出額（実績）を調査した。

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/19_jigyoku.html#2

当会及び関係諸団体や官公庁等でまとめた機械工業にかかわる報告書、各種見通調査結果、統計、政策資料等を収集、分類、整備を進めると共に、ホームページで広く紹介した。また、機械工業関係情報の収集及び機械工業振興のための環境・安全情報提供と、ロボット産業・技術の振興に関する広報の2テーマの広報事業を関係機関に委託して行った。

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/19_jigyoku.html#3

機械工業の生産性向上と国際競争力について調査した。またアジア諸国の現地有力サプライヤー発掘など資料調達情報調査を行い、北インドのサプライヤー60社の企業便覧を作成した。また、我が国機械工業の事業環境整備等に資する調査を6課題、委託して行った。

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/19_jigyoku.html#4

「ものづくり」を支える研究開発者、技術者・技能者の育成ならびに「新しい産業創出」を担うコーディネーターの充実を図る観点から、これらの人材育成のニーズ、制度・方法等の現状を把握するとともに、人材育成における課題を整理・分析し、今後の人材育成のあり方について目指すべき方向性を提言した。

オ. 機械工業の標準化推進

http://www.jmf.or.jp/japanese/hojo/19_jigyuu.html#5

機械類の安全性分野の国際標準の開発と JIS 原案の作成などを目的として、ISO/TC199 及び IEC/TC44 関連国際規格の開発、関連分野の JIS 原案の作成を実施した。また、我が国の機械工業の国際標準化対策等を行うため、3 機種・団体に委託調査事業を行った。

2. 予想される事業実施効果

ア. 機械工業の景気動向、生産見通し等調査

機械工業の発展を図るため、景気動向を迅速かつ的確に把握する必要がある、機械工業の生産額見通しを作成する本調査は各方面から重要視されており、今後とも更に調査内容の充実が期待されている。

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

情報資料の集積が進むにつれて関係各方面の調査、研究等に役立つ他、機種別の広報事業を行ったことにより、中小企業向けの「環境配慮型」経営のサポートや今後のロボット産業技術等の開発意欲の向上等に大きく役立つことが期待される。

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

機械工業の生産性向上と国際競争力に関する調査研究では、ビジネスモデル構築の方向についてまとめたことが、ホワイトカラーの意識改革、知識・能力向上、生産性向上努力に役立つことが期待できる。また、アジア地域資材調達情報網の構築では、海外生産等の国際事業展開が加速しており、特にインドでの生産活動が増加する中、競争力の大きな要因とされる効率的な資材調達の実現に役立つことが期待される。さらに、事業環境に係わる調査研究では、国際社会の中で、我が国では事業環境の対応が遅れている業種についても、各国の市場動向調査の情報を提供できたため、今後、我が国の機械産業が対外輸出等で不利益を被らない輸出貿易管理制度の提案等の作成や整備に、大きく寄与することが期待される。

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

地域機械工業の各企業における人材育成の現状と課題・問題点の明確化ならびに人材育成の目指すべき方向性を提示できたことにより、今後地域機械工業の発展を支える研究開発者技術者・技能者、コーディネーターの育成・充実を促進する上で役立つことが期待できる。

オ. 機械工業の標準化推進

本事業における成果は、機械類の安全性確保のために、広く横断的に使用可能な内容を含む国際規格と JIS 原案を収めてあり、エスカレーター、エレベーター、瞬間湯沸かし器、回

転扉事故など社会問題として取り上げられる事故防止対策に活用することができるとともに、各個別分野の安全規格作成のための必須事項としても活用されることが大いに期待される。また、国際的な動向を知る上でも活用されることが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/list/list_19.html

ア. 機械工業の動向、生産見通し等調査

- ・平成 19 年度機械工業生産額見通し等調査
- ・平成 19 年度機械工業生産額（改訂）見通し等調査

イ. 機械工業関係情報収集及び国内広報

- ・「環境配慮型」経営支援情報ガイド
- ・「日本ロボット」大賞 2007 ポスター
- ・「日本ロボット」大賞 2007 ちらし
- ・「展示会内容紹介ブローシャ」
- ・THE ROBOT AWARD 2007 REPORT 報告書

ウ. 機械工業の展望と課題に関する調査

- ・機械工業の生産性向上と国際競争力に関する調査研究報告書（Ⅰ）
- ・インド有力サプライヤー企業便覧 北インド編
- ・安全保障環境の変化が我が国の防衛機器産業に及ぼす影響に関する調査研究報告書
- ・宇宙の平和利用原則の見直しとこれが防衛機器産業へ及ぼす影響に関する調査研究報告書
- ・国際的制度調和に向けた安全保障貿易管理制度の比較・分析に関する調査研究報告書（米国における安全保障貿易制度に関する調査）
- ・国際的制度調和に向けた安全保障貿易管理制度の比較・分析に関する調査研究報告書（インドの輸出管理制度実態調査）
- ・国際的制度調和に向けた安全保障貿易管理制度の比較・分析に関する調査研究報告書（中国における暗号規制調査）
- ・ロシア建設機械市場への各国参入状況調査及び日本の建設機械産業の市場進出とその将来性に関する調査研究報告書
- ・機械工業の世界市場での競争力強化に有効な現行制度の抜本的改革に関する調査研究報告書
- ・BRICs の機械工業の現状と見通しに関する調査報告書（ロシアを支える東欧諸国の機械工業事情）

エ. 地域機械産業の事業活動推進に関する調査

- ・近畿地域機械産業の高度化に向けた人材育成に関する調査

オ. 機械工業の標準化推進

- ・ISO/TC199 部会成果報告書
- ・IEC/TC44 部会成果報告書
- ・空気圧エネルギー評価の標準化と省エネルギー化への応用に関する調査研究報告書
- ・環境保全用バグフィルタ集じん設備及び関係する課題の標準化報告書
- ・電子マネー及び企業ポイントの利用拡大に向けた事業環境整備報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社団法人日本機械工業連合会（ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ）

住所： 105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館5階

代表者：会長 金井務（カナイツトム）

担当部署：業務部（ギョウムブ）

標準化推進部（ヒョウジュンカスイシンブ）

企画部（キカクブ）

大阪事務所（オオサカジムシヨ）

担当者名：業務部長 倉田正明（クラタマサアキ）

業務部次長 多並輝行（タナミテルユキ）

業務部 高橋保弘（タカハシヤスヒロ）

業務部 戸田譲（トダユズル）

大阪事務所常務理事 伊藤正直（イトウマサナオ）

常務理事 石坂清（イシザカキヨシ）

標準化推進部 宮崎浩一（ミヤザキヒロカズ）

企画部 堀内誠太郎（ホリウチセイタロウ）

電話番号：03-3434-5382, 5383（業務部）

03-3434-9436（標準化推進部）

03-3434-5284（企画部）

06-6345-6327（大阪事務所）

FAX：03-3434-5350

E-mail：gyomu@jmf.or.jp（業務部）

kikaku@jmf.or.jp（業務部）

hyojun@jmf.or.jp（標準化推進部）

shinkojigy@jmf.or.jp（企画部）

URL : <http://www.jmf.or.jp>